

環境放射能測定体制強化事業について

環境管理課

1 事業の目的

福島第一原発事故の発生を受け、引き続き県民の安全・安心を確保するため、生活環境や食品、廃棄物などの放射能を測定し、測定結果を迅速に公表するとともに、各種団体の研修会等へ講師を派遣するなどの普及啓発を行う。

2 事業の概要

(1) 放射能に係る普及啓発と情報発信 3,252千円

① 放射能関連情報の提供

放射能に係る測定結果や関連情報をウェブページに掲載するほか、「空間放射線量測定結果公表ウェブサイト」の維持管理を行う。

② 放射能に係る知識の普及啓発

市町村、学校、住民団体等の研修会に、放射能に関する専門家を講師として派遣する。

(2) 生活環境の放射能測定 24,834千円

① 文部科学省委託事業（環境放射能水準調査）の実施

県内6カ所のモニタリングポストによる空間放射線量の常時監視のほか、ゲルマニウム半導体検出器による降下物、水道水等の放射能測定を行う。

② 放射能測定の実施

県独自に、ゲルマニウム半導体検出器による食品などの放射能測定を行う。

③ 災害廃棄物等に係る監視の実施

災害廃棄物や、県外産業廃棄物を受け入れる廃棄物処理施設において、定期的に放射能及び空間放射線量の測定を行う。

④ 測定機器の整備

空間放射線量を測定するサーベイメータを4台購入し、保健所に配置する。

(3) 食品の放射能測定 6,393千円

(独)国民生活センターから貸与を受けた放射能測定器により、生活センター及び北部・南部消費生活相談室の3カ所において、給食事業者や消費者等から持ち込まれた食品の検査を行う。

3 予算額

34,479千円

（うち上記(1)①、(2)③、(3)の一部は、
緊急雇用創出等臨時対策基金及び地域活性化対策基金を活用）

秋田県における放射能測定体制

モニタリングポストによる空間放射線量の常時測定

○県内6カ所の空間放射線量をリアルタイムで配信

美の国あきたネットで公開



※測定データの「ダウンロード」及び「グラフ表示」機能付

○配置場所

健康環境センター、鹿角・山本・由利・仙北・雄勝地域振興局

合計 6台

シンチレーション式サーベイメータによる空間放射線量測定

○災害廃棄物・県外廃棄物受入施設などの測定

○保健所による定期測定（月1回、4保健所）

大館保健所、北秋田保健所
秋田中央保健所、横手保健所

○配置場所

環境管理課：5台 各保健所：8台
健康環境センター：1台 森林技術センター：2台
産業技術センター：1台 ……合計17台



シンチレーション式サーベイメータ

ゲルマニウム半導体検出器による精密測定

○文部科学省委託

検査対象	検査予定数
大気浮遊じん・降下物	16
水道水・河川水・土壌	8
精米・野菜・牛乳・海藻	5
合計	29

検査



ゲルマニウム半導体検出器

○県独自

検査対象	検査予定数
一般環境等	102
廃棄物	552
水道水	25
流通食品	90
県産農産物等	267
合計	1,036

○配置場所

健康環境センター

: モニタリングポスト (地上高23m)

: モニタリングポスト (地上高1m)

: シンチレーション式サーベイメータ

簡易型放射能測定器によるスクリーニング検査

○食品、給食食材などの測定

検査対象	検査予定数
消費者・給食事業者等の食材	300
学校給食食材	7,680
合計	7,980

○農産物等の測定（委託又は検査費補助）

検査対象	検査予定数
県産牛肉の全頭検査	3,700
農協等が行う検査への補助	350
合計	4,050

○配置場所

生活センター：2台 教育庁保健体育課：2台 農業試験場：1台
北部消費生活相談室：1台 秋田北鷹高等学校：1台
南部消費生活相談室：1台 能代西高等学校：1台
由利地域振興局：1台 仙北地域振興局：1台 ……合計11台

検査



簡易型放射能測定器（教育庁）